



mizutama * mizutama * mizutama * mizutama * mizutama * mizutama

水 Do! で ペットボトル削減 & 給水スポットをひろげよう!

ごみ・環境ビジョン 21 会員 / 「みず多摩」メンバー 岸田 恵

Refill 東京・多摩グループ「みず多摩」は多摩市内で、ペットボトル削減のために、給水スポットを広げていく活動を行っている市民グループです。

まずは「楽しく活動をしていこう♪」ということで、ウォーキングをしながら公園の水飲み場をチェックしました。多摩市は人口一人当たりの公園面積が都内で一番広く、水飲み場のある公園が 148 か所もあります。そしてそれらは飲料に適した水道水です。

実際にその一部を歩いてみて、今まで知らなかった水飲み場の場所を知りました。また、水飲み場のデザインも、鳩の形が彫られていたり、松の切り株のようになっていたり、可愛いデザインがあるというのも大きな発見でした。改めて、地元の魅力を感じました。

また「みんなが使いたくなるような水飲み場にしたい!」ということで、持参した道具や石けんを使って水飲み場の掃除もしました。そしてきれいにした水飲み場で自分たちも実際に水を飲んだり、マイボトルに水を入れたりしました。

水を飲む時に気がついたのは、蛇口にもさまざまな形状があるということ。私たちが「いいな」と感じた水飲み場は ① 蛇口から出る水の勢いが調節しやすい ② 握力が弱くても水を出しやすい ③ 飲み口の位置が車いすでも子どもでも使いやすい高さにあるもの。

みなさんはどのような水飲み場を使いたいですか。



公園によっては、野球場やテニスコートなど、スポーツ施設が併設されています。このような運動公園にはマイボトルに入れたくなるような「給水スポット(無料で水を補給できる場所)」が欲しいという話も出ました。

運動公園には自動販売機も設置されていますが、備え付けのごみ箱にはペットボトルが溢れている事もあります。プラスチックの海洋汚染が話題になっていますが、こうした所から川へ流れ海に辿り着くこともあるのではないのでしょうか。自然の中に出てしまうと汚染の原因になってしまうプラスチック。ペットボトルの発生抑制をしたいと改めて感じました。

またペットボトルは適切な処理がされても、環境への負荷を考えると、やはりマイボトルがおすすめです。使いたくなる給水スポットがあり、その場所がわかれば、無理なくマイボトルの使用ができると思います。

公園だけではなく、公共施設にある水飲み場、また協力してくれるお店等、地域の中には給水スポットとなるオアシスがあります。

丸い輪が、水玉のように地域の中でどんどん広がるイメージをもって、「みず多摩」は楽しく活動を続けながら、マイボトルの輪を広げていきたいと思っています。

これからどんどん寒くなりますが、寒い冬は温かな飲み物が元気をくれます。マイボトルに自分オリジナルの元気の素をいれて、お出かけを楽しみたいですね。

Topics

多摩市議会
からの
アピール
Facebook より



令和 2 年 6 月、多摩市と多摩市議会は共同で気候非常事態宣言を表明しました。宣言の中では、「資源の有効活用を図り、使い捨てプラスチックの削減を推進する」ことが謳われており、多摩市議会では、取り組みのひとつとしてマイボトルの使用を推進しています。

写真は、全議員そろって普段使用しているマイボトルを手に撮影したものです。多摩市議会は、マイボトルの使用推進をはじめとした廃プラスチック発生抑制への取り組みを、今後も率先して行っていきます!



多摩市長も
マイボトルで
アピール!